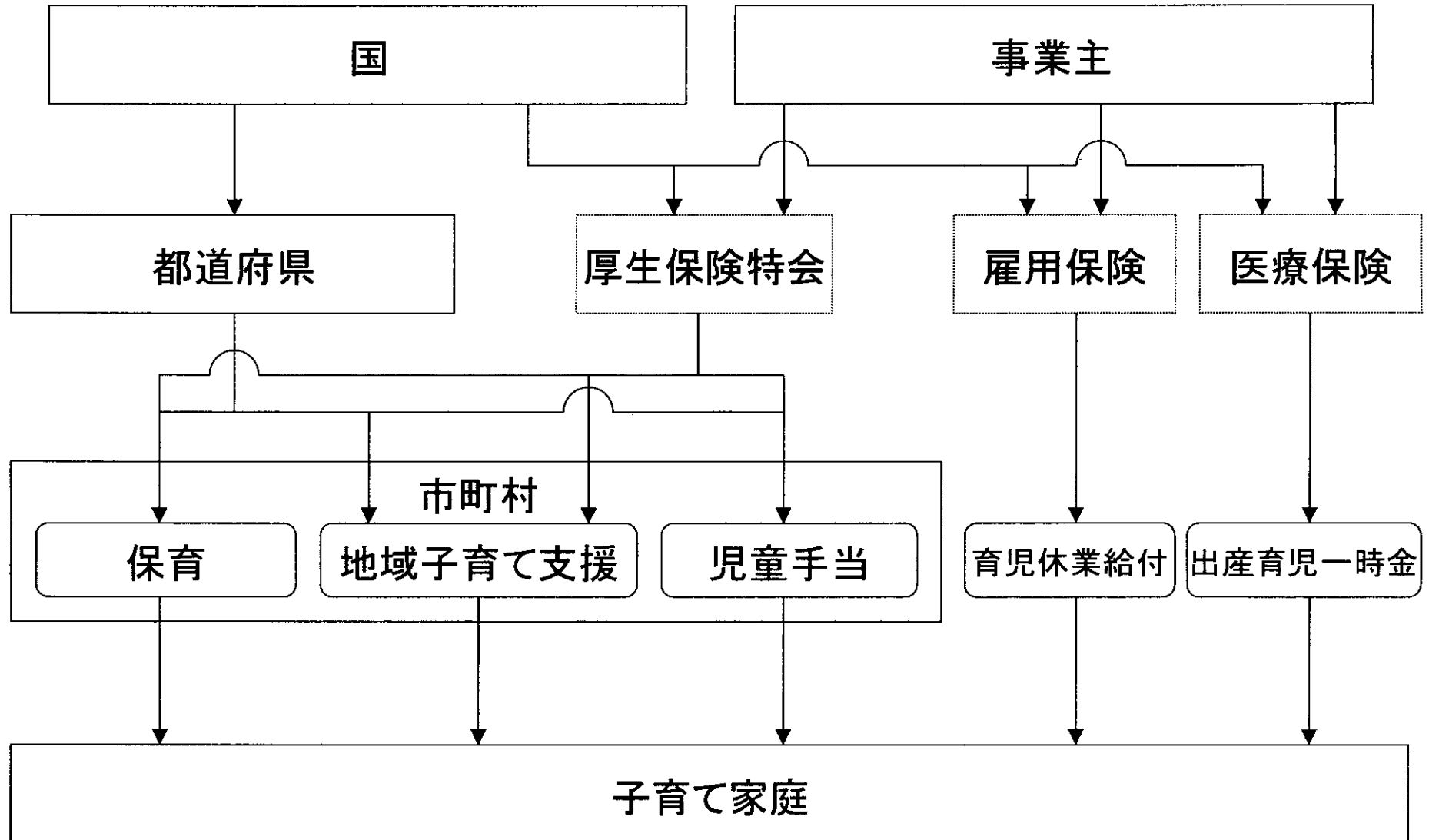


説 明 資 料

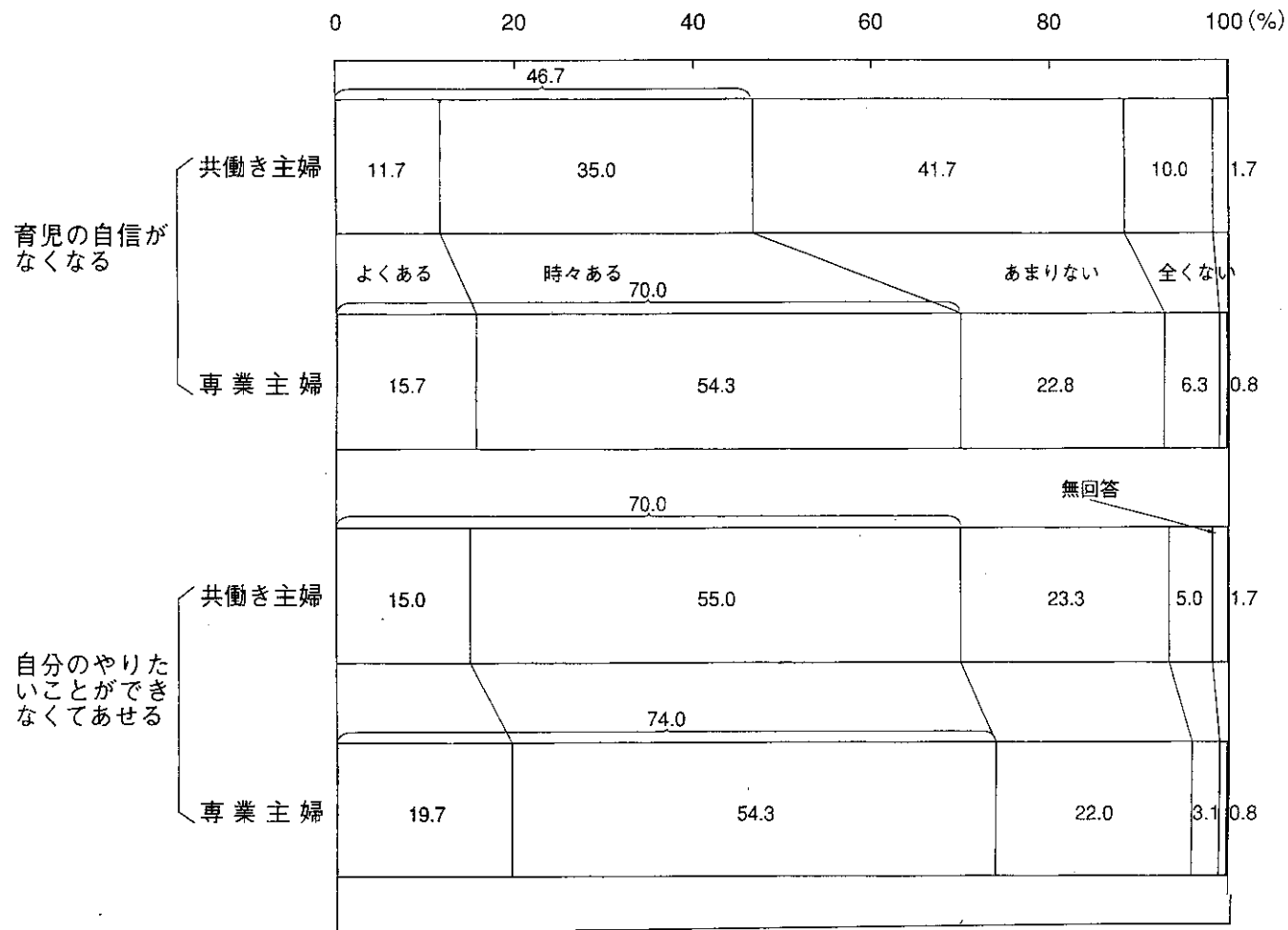
○	次育保子地保保支介	1
○	世児育域育育援護	2
○	代中サテに所所費保	3
○	育の一支おにの制除改	4
○	成不ビ援けお入度制正	5
○	支安ス事るけ所及度、	8
○	援に以業子る方び、よ	11
○	施つ外の育地式介・護	12
○	策いへ現て支子・保	13
○	とての状支子・保	14
○	財・源の流	15
○	の・サ一ビスの期待	16
○	の・サ一ビスの期待	17
○	の・サ一ビスの期待	18
○	の・サ一ビスの期待	19
○	の・サ一ビスの期待	20
○	の・サ一ビスの期待	21
○	の・サ一ビスの期待	22
○	の・サ一ビスの期待	23
○	の・サ一ビスの期待	24
○	の・サ一ビスの期待	25
○	の・サ一ビスの期待	26
○	の・サ一ビスの期待	27
○	の・サ一ビスの期待	28
○	の・サ一ビスの期待	29
○	の・サ一ビスの期待	30
○	の・サ一ビスの期待	32
○	の・サ一ビスの期待	33

次世代育成支援施策と財源の流れ



○ 育児中の不安について

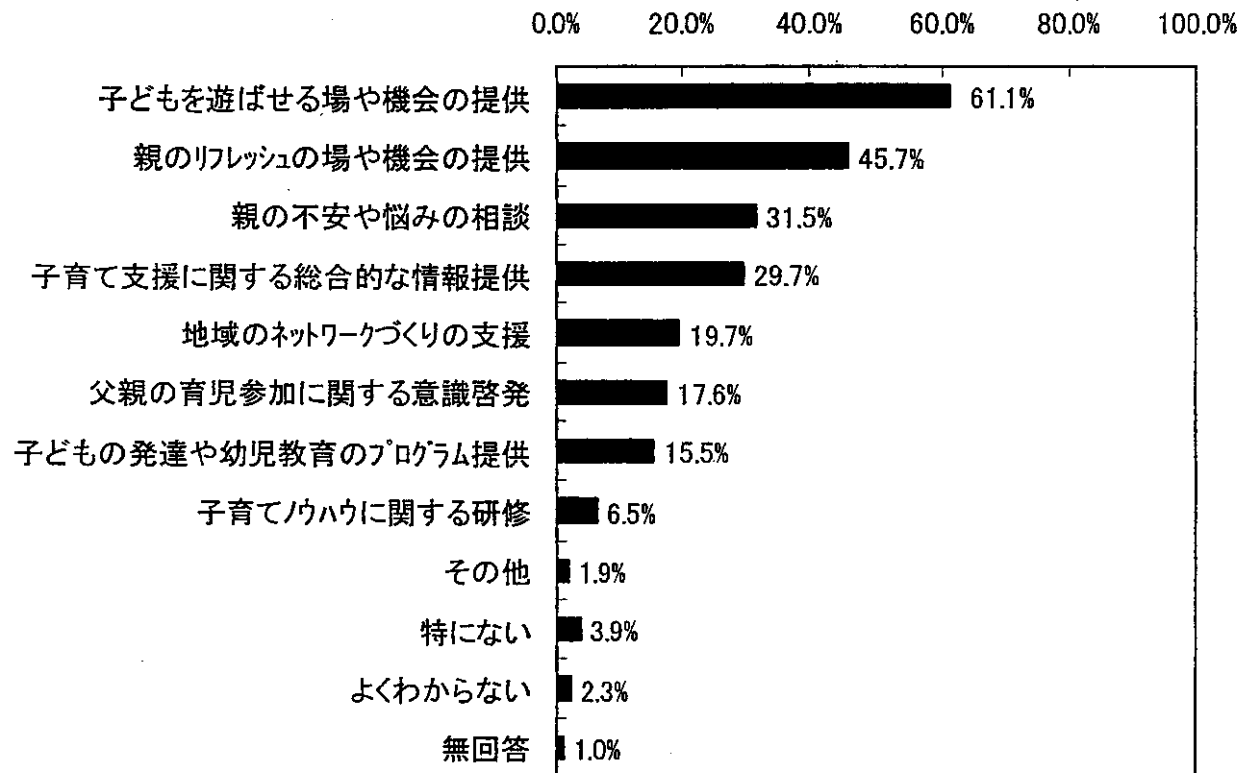
共働き主婦よりも専業主婦の方が育児中の不安が大きい。



- (備考) 1. 内閣府「国民生活選好度調査」(1997年)により作成。
 2. 「お子さんを育てながら次のようにお感じになることがありますか」という問に対する各項目についての回答者の割合。
 3. 回答者は第1子が小学校入学前の女性187人。
 4. 共働き主婦にはパートタイム労働者を含む。

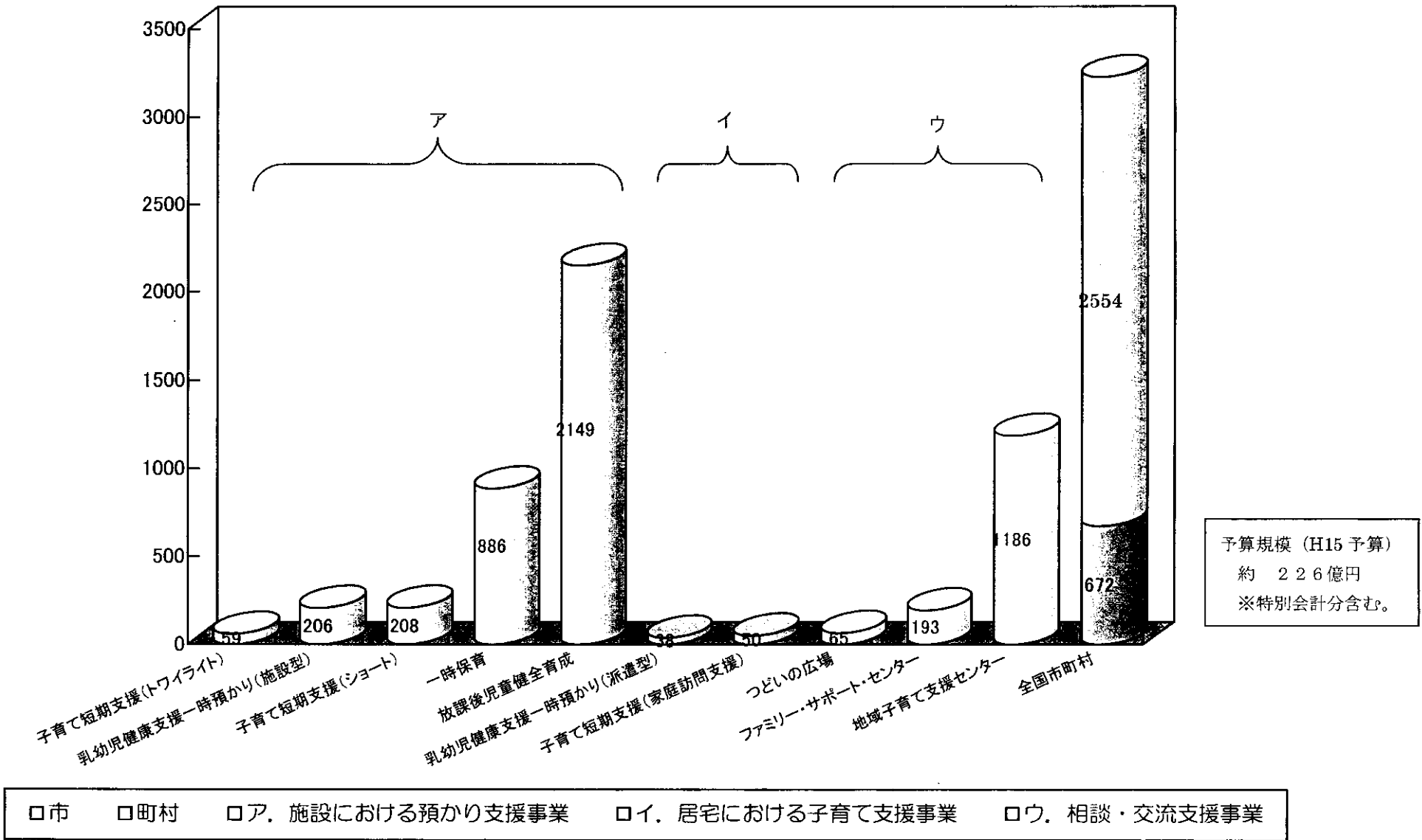
「子どもを遊ばせる場や機会の提供」を望む人が最も多い。また、「親のリフレッシュの場や機会の提供」、「親の不安や悩みの相談」、「子育て支援に関する総合的な情報提供」を求める人も多い。

保育サービス以外へのサービスの期待：母親（複数回答：3つまで n=1,765）



(注) 平成15年3月 UFJ総合研究所
「子育て支援策等に関する調査研究報告書」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局委託調査)

子育て支援事業の現状（実施市町村数）



* 全国市町村数は平成14年4月1日時点
 * 実施市町村数は平成13年度実績。ただし、子育て短期支援事業（ショート、トワイライト）は平成12年度実績、放課後児童健全育成事業は平成14年5月時点、子育て短期支援事業（家庭訪問支援）及びつどいの広場事業は平成14年度予算ベース（新規事業）

地域における子育て支援の具体的事例

- 地域における子育て支援については、相談・交流支援、一時預かり支援、居宅支援など多岐にわたり、自治体や約4,000のNPOなどの多様な主体による事業が展開されており、全国各地で以下のような特色のある子育て支援事業が実施されている。

相談・交流支援事業

【江東区子ども家庭支援センター みずべ】

- 子ども家庭支援センター「みずべ」は、江東区が設置し、社会福祉法人が運営する公設民営形態。
- 7人のスタッフと58人のボランティアで、親子でほっとできる居場所、人と出会える場であることを目指し、特に、母親だけでなく、父親や地域の人々が「共育ての親」として、「みんなで育てあう」ことを重視。遊び・ふれあいのひろばなど5つのひろばと地域ネットワークや人材育成など幅広い活動を実施。

【おやこの広場 びーのびーの（横浜市）】

- NPO法人が設置運営する「びーのびーの」は、横浜市港北区の菊名西口商店街の一角にあり、乳幼児とその親がいつでも気軽に立ち寄り、自由に過ごせる空間（もうひとつの家）として、当事者である親たちが作ったひろば。
- 運営には、約30人の子育て真っ最中のスタッフや学生ボランティア・子育て経験があるサポーターなど合計約60人が当たっている。

【0123吉祥寺（東京都武蔵野市）】

- 「0123吉祥寺」は、武蔵野市が設置し、武蔵野市子ども協会が運営する施設で、0～3歳の子どもとその親が、いつでも気軽に遊びに来ることができる子育てのひろば。
- 5人の専門スタッフが子どもの遊びや親同士の交流の手伝いをしながら、あくまでも利用する親子が主体的、自主的に活動することを重視しながら、ひろば事業や相談事業など5つの事業を実施。

【まつどファミリー・サポート・センター】

- 「まつどファミリー・サポート・センター」は、「松戸市子ども計画」において、「子育て支援強化策」として位置付けられ、(財)松戸市福祉公社に運営を委託して実施。
- アドバイザー数名を配置し、約180名の育児の援助を行いたい人（提供会員）と約560名の育児の援助を受けたい人（利用会員）を構成員とする会員組織で運営され、残業などの際の保育所等の終了時間後の預かりなどを実施。

一時預かり支援事業

【ファミリーヘルプ保育園 (新潟県上越市)】

- 上越市では、トータル（年齢的・時間的）な子育て支援をモットーに12年度から、24時間年中無休の「ファミリーヘルプ保育園」を開設している。
- これは、住民アンケート調査の結果、「夜間預かってくれる場所がほしい」「緊急の場合には朝まで預かってくれる場所がほしい」という意見を受け、子育ての安心施設が必要との要望に応えたもので、1日平均10名の利用がある。

【こどもテンミリオンハウス あおば (東京都武蔵野市)】

- NPO法人「保育サービスひまわりママ」が運営する「あおば」は、武蔵野市の住宅地の一軒家を借りて、0歳から小学校在児童の一時預かりを行っている。
- 利用要件は、介護、冠婚葬祭をはじめ買い物、美容院やリフレッシュなど子育て中の親の多様なニーズに応えられるよう配慮されており、早朝・夜間や宿泊保育なども実施。

【病後児保育室 みもぞ (横浜市)】

- 横浜市南区の睦町保育園に併設される病後児保育室「みもぞ」は、病気回復期にある就学前の児童を、専用の保育室で預かるサービスを実施。
- 看護師と保育士の専門スタッフと、必要があれば近所の小児科医が外来診療するなどの態勢をとっており、14年度には前年度を大幅に上回る259人が利用。

居宅支援事業

【乳幼児健康支援訪問ヘルパー事業 (ママヘルプ) (熊本県大津町)】

- 大津町では、13年度から、出産後間もない核家族で、体調が不調なため家事や育児が困難となっている家庭などに看護師を派遣して、身の回りの世話や育児の援助及び助言、相談を行う事業を町社会福祉協議会に委託して実施。
- 利用者には、単に家事・育児の援助ではなく、育児相談なども行うことで、育児不安が解消されたなどの効果がみられている。

【エンゼルヘルパー派遣事業 (千葉県浦安市)】

- 浦安市では、就学前児童がいる家庭の約90%が核家族家庭である状況を踏まえ、11年度から、乳幼児の保護者が出産後、傷病等のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯にヘルパーを派遣して、家事のお手伝いや子どものお世話などを実施。
- 利用時間は、午前9時から午後5時まで、1回の派遣につき2時間、1日2回まで利用可能。

【エンゼルヘルパー派遣事業 (兵庫県稲美町)】

- 稲美町では、13年度から、乳幼児の保護者が出産後、傷病、冠婚葬祭、行事（検診、通院等）等参加のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯にヘルパーを派遣して、家事のお手伝いや子どものお世話などを行う事業をデ・サービスセンターJ Aはなかご等に委託して実施。
- 利用時間は、午前8時から午後6時まで、1回の派遣につき3時間、週3回まで利用可能。

子育て支援サービス調整事業

【子育て支援情報ネットワーク事業（香川県善通寺市）】

- 善通寺市では、公・民間の行う子育て支援に関する情報を集約し、インターネットのホームページを開設して一般に広く提供する事業を14年度から3年間かけて基盤整備中。
- 14年度は、ホームページ作成のための情報収集・編集作業をNPO法人「子育てネットくすくす」に委託し、子育て中の親や市民ボランティアなどの利用者の視点から運営にあたることとし、ホームページには、アクセスした市民からの意見の書き込みを可能とするなど、双方向型のコミュニケーションシステムを構築することとしている。

【みたか子育てねっと（東京都三鷹市）】

- 三鷹市では、地域の子育てに関する情報をトータルに提供し、地域全体で子育てする力を向上させることを目的として、インターネット上の子育て支援ネットワーク、ホームページ「みたか子育てねっと」を立ち上げ、運営には、市民（NPO法人）、行政、民間が協力して当たっている。
- 保育園や幼稚園、各種子育て施策に関する総合的な情報や、個々の家庭の状況に応じた子育て支援サービスの利用の可否に関する情報など、子育て中の親に必要な情報が得られるものとなっている。

子どもの健全育成事業

【中高生広場 CHUKOらんど チノチノ（長野県茅野市）】

- 茅野市では、14年4月、駅前施設の空きスペースを活用して、中高生世代のための多目的スペース「CHUKOらんどチノチノ」を開設、広さは570㎡で、多目的ホール、ダンス室、音楽室、学習室、食堂・キッチンなどが備えられ、運営は、中高生世代に任されている。
- 中高生は、楽器やダンスの練習、仲間同士のおしゃべりなどとして利用でき、多い時は1日約50人の利用がある。

【中高生と赤ちゃんの ふれあい事業（東京都杉並区）】

- 杉並区では、14年度から、中高生が、保育園、保健センターを訪問し、赤ちゃんに触れる、抱っこする等の交流体験や、保護者から子育て等の体験談を聞く機会などを持つ事業を始めている。
- 参加者からは、「はじめて赤ちゃんを抱っこして感激した」「子ども育てるのは大変だけど、喜びもあるのだとわかった」などの感想が寄せられている。

【国分寺市プレイステーション】

- プレイステーションは、11年度から、国分寺市がNPO法人に運営委託しているプレイリーダーのいる遊び場。
- 子ども達は、穴掘り、木登り、水遊び、基地づくり、畑作りなど自由に遊ぶことができ、遊びは子ども達自身が考え、創っていくものとの考えから、プレイリーダーは見守ることを第一に、子どもと一緒に考え、一緒に遊ぶという立場で接している。

保育所における地域子育て支援の取組例

子育て講座

新通保育園(新潟市)

◎父親のための育児講座の実施

○第2, 第4土曜日に、一般家庭を対象として、父親参加の親子のつどいの場を提供し、父親のための育児講座を実施(赤ちゃんマッサージ、ボウル遊び、わらべうた)。

村山中藤保育園(東京都武蔵村山市)

◎育児講座の実施

○低年齢児を子育てしている母親を中心に、子どもの心身の発育、子どものおやつや洋服の作り方等について、月1回のペースで子育て講座を実施。

子育てサークル支援

若葉保育園(岩手県花巻市)

◎子育てサークル支援

○ミニ運動会の企画の手伝い、体育遊び、手作り玩具の制作指導、出張指導等の実施。

優々保育園(埼玉県所沢市)

◎子育てサークル活動の支援

○地域の公民館・コミュニティーセンターにおいて、おもちゃ作りや楽器遊びなど子育てサークル活動を支援。

保育所行事・交流等

大谷地たかだ保育園(札幌市)

◎土曜保育開放

- 毎月第2・第4土曜日に保育所を開放。0歳児から就学前児童まで親子で参加。在園児童とリズム遊びや課題遊びを実施。

若葉保育園(岩手県花巻市)

◎育児講座「子育て井戸端会議(ぽっぽサロン)」

- 1歳未満の乳児と母親、これから母親になる妊婦との交流の場。利用者同士の交流とともに、担当者や助産師が相談に応じる。毎週水曜日に実施。

◎園庭開放(「すすく広場」)

- 家庭で子育て中の方を対象に園庭を開放。親同士の交流やネットワークの構築。毎週火・木曜に実施。

梨花の里保育園(福島県いわき市)

◎保育所行事に地域の子どもが参加

- 夏祭りや運動会等の保育所行事に在所児以外の子どもが参加。

草花保育園(東京都あきる野市)

◎赤ちゃんサークル「ひまわり」

- 生後3か月から12か月くらいまでの乳児(未就園児)とその母親に対し、集いの場を提供し、育児支援を実施。月2回実施(第1・第3月曜日)。

加美平保育園(東京都福生市)

◎サークル活動(「あかちゃんサークル」、「ナーサリクラブ」)

○「あかちゃんサークル」は未就園の0歳児とその母親を対象にログハウス、ホールを開放し、看護婦も参加。月2回実施。

○「ナーサリクラブ」は0歳児を除く未就園児とその母親を対象に園庭園舎を開放。園児や職員、母親同士の交流も実施。月2回実施。

菜の花保育園(長崎市)

◎出前支援「親子で遊ぼう会」

○週3回(火、水、木曜日)、児童館等で赤ちゃん体操やリズム運動、歌等を親子で楽しめるように実施。

◎保育所における「親子で遊ぼう会」

○週1回(金曜日)、親子で遊べるよう園を開放。

住吉保育園(長崎市)

◎出前支援「親子で遊ぼう会」

○「集まりましょう。語りましょう。遊びましょう。」をスローガンに、地域の親子に児童館等に集まってもらっている。毎週水・木曜日と第2火曜日に実施。毎回百組程度の親子が参加。

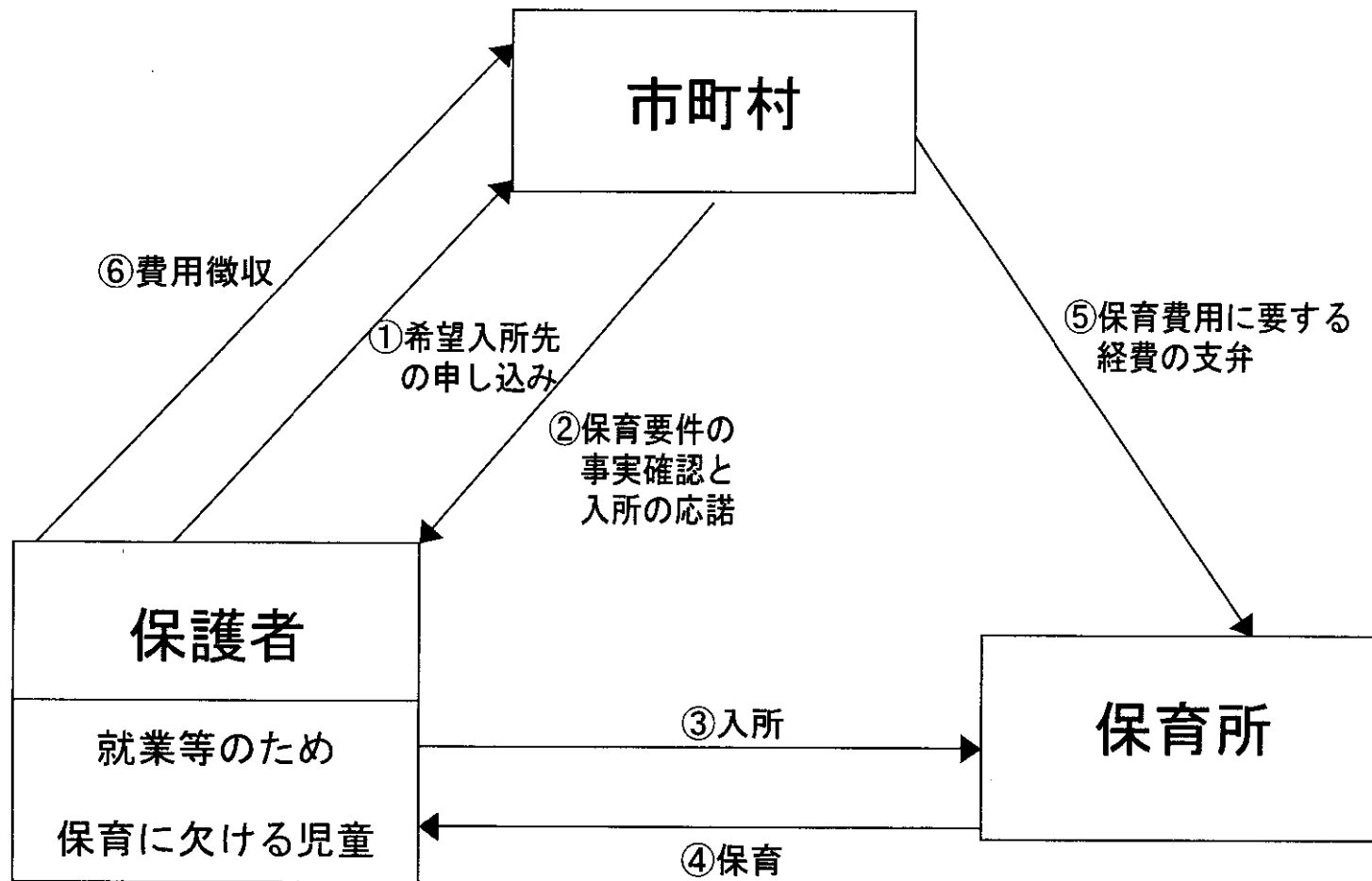
○「親子で遊ぼう会」の折りに、面接による育児相談を実施。育児相談は、別途電話による相談も実施。

さとに保育園(鳥取市)

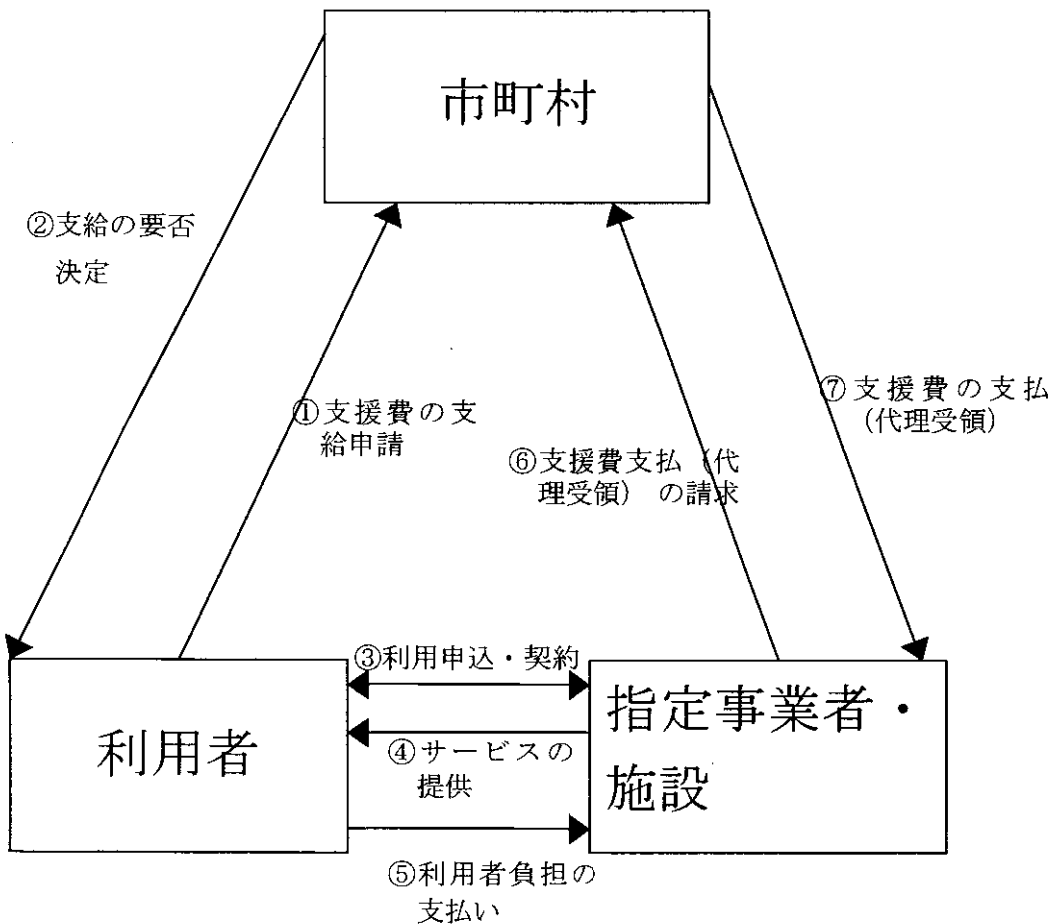
◎「なかよし親子遊び」

○月1回(第3木曜日)、季節折々の自然に触れたり、親子で色々な活動を通じて遊び・触れ合いの輪を広げる活動を実施。

保育所の入所方式



支援費制度



介護保険制度

